

資質・能力の三つの柱と「問い」

平成31年1月 千葉県総合教育センター
カリキュラム開発部



資質・能力の三つの柱を育成するためには、それぞれの資質・能力に応じた「問い」の設定が必要です。単元を見通し、「問い」を工夫しバランスよく設定することが主体的・対話的で深い学びを実現し、資質・能力の三つの柱を育成します。

※本研究では「問い」を、「学習問題、学習課題、発問や問題等、児童生徒に思考の目的や動機付けを与え、活動を促す言葉」と捉えます。これらを「めあて」や「目標」と呼んでいる学校もあります。

小学校6年社会科の一例です。

■『問い』の例は、思考するために必要なスキル(思考スキル)の一例[理由づける]です。

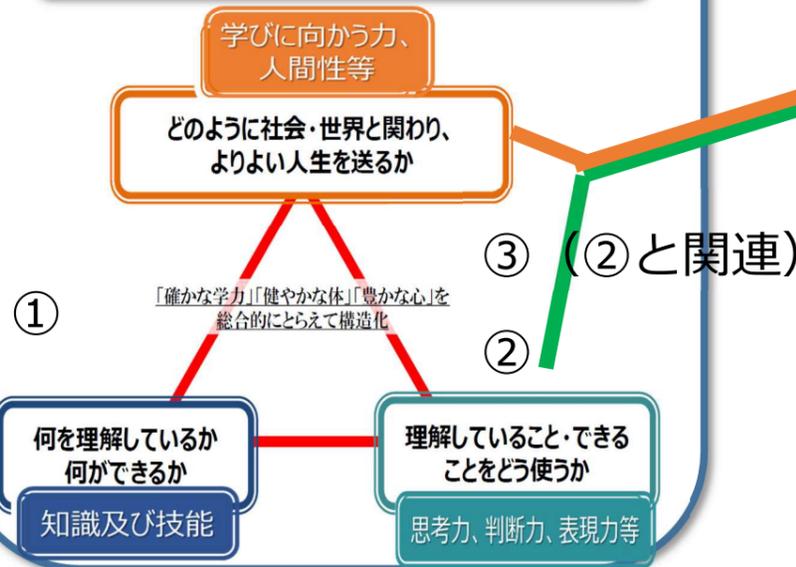
① 知識を答えさせる「問い」
技能を発揮させる指示

千葉県の県庁所在地はどこですか？
地図帳を使って調べましょう。

千葉市です！

一問一答による知識及び技能の習得、再生
「知る・できる」レベル

資質・能力の三つの柱



③ 自己と関連付けながら学びの過程を生み出し、根拠をもとに自分の考えを述べさせる「問い」

あなたが政府だったら、千葉県のどこを県庁所在地にしますか？

ぼくだったら、…。理由は…。

問題解決のプロセスを自ら立て、主張のために知識及び技能の活用ができる
「使える」レベル

② 根拠をもとに自分の考えを述べさせる「問い」

なぜ、千葉市が千葉県の県庁所在地になったと思いますか？

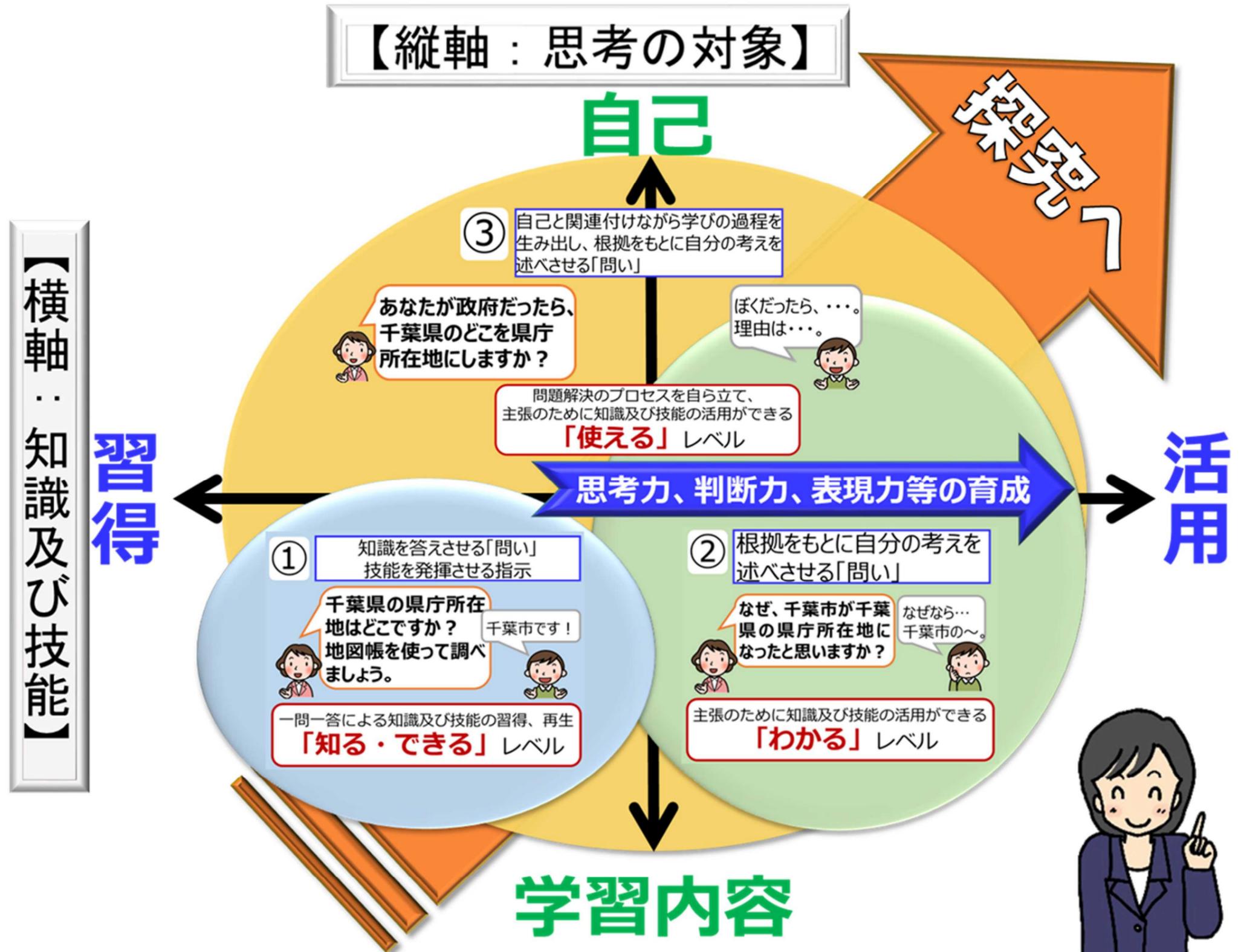
なぜなら…千葉市の～。

主張のために知識及び技能の活用ができる
「わかる」レベル

「問い」の構造化①

平成 31 年 1 月 千葉県総合教育センターカリキュラム開発部

「問い」を構造化しました。横軸は、知識及び技能の「習得」⇔「活用」です。右へ行くほど、知識及び技能を活用すること、つまり、思考力、判断力、表現力等の育成につながります。縦軸は、思考の対象で「学習内容」⇔「自己」です。上へ行くほど、思考の対象が自分自身の考えや経験、夢、希望等（「自己」）につながります。このように、対象と自己を関連付けて思考力、判断力、表現力等を発揮しようとする一連の知的営みは、「探究」における重要な要素であり、これからの時代に求められる資質・能力を育む学びとなります。



「問い」の構造化②

平成31年1月 千葉県総合教育センターカリキュラム開発部

主に知識及び技能を育成する「問い」

主に思考力、判断力、表現力等を育成する「問い」

主に思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等を育成、涵養する「問い」

①

知識を答えさせる「問い」
技能を発揮させる指示

千葉県の県庁所在地はどこですか？
地図帳を使って調べましょう。

千葉市です！



一問一答による知識及び技能の習得、再生
「知る・できる」 レベル

「千葉県の県庁所在地はどこですか？」の「問い」は、既習事項を思い出して「千葉市」と答えます。これは、知識の再生を問う「問い」です。加えて「地図帳を使って調べましょう。」では、地図帳を使うことにより、地図帳を使う技能の習得を図っています。つまり、このレベルの「問い」は**知る・できるレベル**となり、知識及び技能の習得や再生が中心となります。

②

根拠をもとに自分の考えを述べさせる「問い」

なぜ、千葉市が千葉県の県庁所在地になったと思いますか？

なぜなら…
千葉市の～。



主張のために知識及び技能の活用ができる
「わかる」 レベル

「なぜ、千葉市が千葉県の県庁所在地になったと思いますか？」の「問い」は、千葉市が県庁所在地になった理由を、例えば資料を使って調べたり、既習事項を思い出してその根拠をまとめたりして自分の考えをまとめることとなります。このレベルは、自分の主張のために知識及び技能の活用ができる、**わかるレベル**となります。①、②に共通していることは、知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を発揮する範囲が「学習内容」を中心にするということです。

③

自己と関連付けながら学びの過程を生み出し、根拠をもとに自分の考えを述べさせる「問い」

あなたが政府だったら、千葉県のどこを県庁所在地にしますか？

ぼくだったら、…。理由は…。



問題解決のプロセスを自ら立て、主張のために知識及び技能の活用ができる
「使える」 レベル

「あなたが政府だったら、どこを県庁所在地にしますか？」の「問い」は、問題解決のためのプロセスを自分自身で立て、学習内容だけでなく、自分の考えや経験、夢、希望等も思考の対象としています。つまり、**使えるレベル**となります。したがって、資質・能力の三つの柱の「思考力、判断力、表現力等」、さらには「学びに向かう力、人間性等」を含めた「問い」として捉えることができます。

「問い」のバランスを考えた単元づくり

平成31年1月 千葉県総合教育センター
カリキュラム開発部

「何ができるようになるか」を実現するために！

新学習指導要領では「何を学ぶか」とともに、実際の社会を想定し、「何ができるようになるか」という、資質・能力の育成を掲げています。千葉県総合教育センターの学習指導案のデータベースを分析すると、「何ができるようになるか」に該当する「③使えるレベル」の「問い」は、非常に少ないことがわかりました。これからの時代に求められている資質・能力を育成するためには、「③使えるレベル」の「問い」も単元内に設定することが必要です。もちろん、「①知る・できるレベル」や「②わかるレベル」の「問い」も同じように重要であることは言うまでもありません。要は、**単元を通して資質・能力の三つの柱を「問い」によってバランスよく育成することが大切**です。

そこで私たちは、どの校種や教科でも活用できるように「問い」のレベルの分類表を作成しました。この分類表を参考に、様々な校種や教科で活用していただきたいと考えます。この積み重ねが児童生徒に「何ができるようになるか」という、資質・能力の育成につながります。

「問い」のレベルの分類表 ※他校種・他教科の例

教科 レベル	国語 (小学校)	算数 (小学校)	理科 (小学校)	家庭 (小学校)	社会 (中学校)	数学 (中学校)	理科 (高等学校)	英語 (高等学校)
① 知る・できる レベル	様々な慣用句を、国語辞典で調べよう。	4つの乗り物に1回ずつ乗る順番は、何通りありますか。	天気はどのように変わっていきますか。	5大栄養素の働きを知ろう。	小学校で、安土桃山時代や江戸時代でどんなことを学びましたか。	自動車のカタログに書かれている燃費の数値の意味は何でしょうか。	IPS細胞を作るための四つの遺伝子を知っていますか。	この文章で使われている文法は何ですか。 (Reading skill)
② わかるレベル [思考スキル]	調べた慣用句を使って4コマ漫画を作ろう。 [具体化する]	ランチセットメニューから、何通りのランチセットの組み合わせができるだろうか。 [構造化する]	千葉県の〇〇市の明日の天気は何ですか。その理由も説明しよう。 [理由付ける]	健康維持・促進を考えて夕食メニューを改善しよう。 [関連付ける]	織田信長や豊臣秀吉が天下統一の基盤を作ることができたのは何故ですか。 [理由付ける]	自動車を購入し、通勤に3年間利用したときの金額はいくらになりますか。 [関係付ける] [推論する]	なぜ、その四つの遺伝子を使ったのだろうか。 [理由付ける]	筆者が伝えたいことは何ですか。 (Summarizing) [要約する]
③ 使えるレベル [思考スキル]	慣用句を使って、家の人に学校での出来事を伝えよう。 [応用する]	サッカーくじを確実に当てるには、何口買えばよいか考えよう。 [構造化する] [関連付ける]	過去の気象データを基に、風水害対策について市長に提案しよう。 [推論する] [関連付ける]	栄養士になったつもりで、一週間分の給食の献立を考えよう。 [関連付ける]	近世において、武士、農民、町民の誰になりたいですか。 [関連付ける]	自分が自動車をかうとしたら、金銭的に一番得をするにはどの自動車を買いますか。 [関連付ける] [推論する]	自分が作りたい組織の細胞に分化させるためには、どの遺伝子を使えばよいのだろうか。 [関連付ける] [推論する]	もっとわかりやすく他の人に伝えるには、どうしたらよいと思いますか。 (Retelling) [関係付ける] [広げてみる]

参考

石井英真(2015)は、学校で育てる能力の階層性(質的レベル)を捉える枠組みとして、3つのレベルの課題を示しています。具体的には、知識及び技能が身に付いているかどうかを問う課題(「知っている・できる」レベル)、知識及び技能の意味理解を問う課題(「わかる」レベル)、現実世界の問題について、どの知識及び技能を使うか判断し、場面から必要な情報のみを取り出して、既有的知識や自己の考え経験等を組み合わせて筋道立てて思考をすることを求めるもので、知識及び技能の総合的な活用力を問う課題(「使えるレベル」)です。

私たちはこの考えを基に、授業で活用できるように「問い」のレベルの分類表を作成しました。

〈文献：石井英真(2015)『今求められる学力と学びとは-コンピテンシー・ベースのカリキュラムの光と影-』日本標準〉

※「問い」の下段に、思考スキルを示しました。リーフレット NO. 3に様々な思考スキルを例示しました。思考スキルを見定め、効果的に思考ツールを活用することが思考力を高めることにつながります。